

Aiロボティクス

247A・100株

9月27日

東証グロース上場

「生VC」スキンケアシリーズ「Yunth」などを展開

自社開発のAIシステムを用いた、スキンケア商品・美容家電等の企画・開発及び販売を行う。スキンケアブランド「Yunth」の主力商品である「生VC美白美容液」は延べ300万個以上(2024年7月現在)を出荷している。美容家電ブランド「Brighte」は2024年2月に販売を開始した。

公開規模にはやや荷もたれ感があるものの、直近業績が大幅増収増益となっているほか、株主には著名人の顔ぶれも見られることから、話題を呼びそうだ。

■IPOスケジュールと類似企業バリュエーション

日程	
仮条件提示	9月6日
ブックビルディング期間	9月10日～9月17日
公開価格決定	9月18日
申込期間	9月19日～9月25日
払込日	9月26日
上場日	9月27日

類似会社4社	
北の達人<2930>	22.3倍(連)
I-ne<4933>	12.9倍(連)
ヤーマン<6630>	29.9倍(連)
MTG<7806>	30.0倍(連)

(PERは9月5日終値の会社側予想ベース)

Aiロボティクス

247A・100株

9月27日

東証グロース上場

決算期	売上高	業績推移 (百万円・%)				
		伸び率	経常損益	伸び率	純損益	伸び率
2021/3	1,567	160.9%	94	90.3%	79	31.5%
2022/3	1,607	2.6%	▲78	—	▲388	—
2023/3	3,645	126.7%	283	—	▲264	—
2024/3	7,061	93.7%	1,234	335.5%	825	—
2025/3 予	10,800	52.9%	1,700	37.7%	1,200	45.4%
2024/6 1Q	2,559	—	472	—	333	—
予想EPS/配当	単独：105.60円/—円 ※予想EPSは上場時発行済株式数で試算					

■業績コメント

2022年3月期は同社の完全子会社であったYunth(株)及び17skin(株)に係る株式評価損並びにAIマーケティング事業に係るソフトウェアの減損損失により赤字業績となった。2022年11月1日付で前述の2社を吸収合併したが、抱合せ株式消滅差損により2023年3月期も最終利益が赤字計上となった。

前期は、D2Cブランド事業では、化粧品ブランド「Yunth」において、新商品となる生VC美白クリーム、生VCクレンジングクリーム、生VCクリアフォーム、アイラッシュセラムEXを発売し、売上高が69.6億円(前々期比3.9倍)、セグメント利益17.0億円(同3.8倍)となった。その他となるAIマーケティング事業では、経営資源の選択と集中により、「AIマーケティング事業」のリソースを「D2Cブランド事業」へシフトし、自社ブランドの成長を推進したため、稼働件数を限定して行った(現在AIマーケティング事業は休止)。そのため、売上高は1.0億円(同94.6%減)、セグメント損失0.1億円(前々期は2.0億円の利益)となった。

2025年3月期の業績は、売上高が前期比52.9%増の108.0億円、経常利益が同37.7%増の17.0億円と増収増益の見通しとなっている。今期は今年2月に販売を開始した美容家電ブランド「Brighte」が堅調に成長している。6月には本社事務所を増床し、人材採用を積極的に行い、D2Cブランド事業の一層なる拡大と強化に取り組んでいる。なお、通期計画に対する第1四半期末時点における進捗率は、売上高が25.6億円で23.7%、経常利益は4.7億円で27.8%となっている。

Aiロボティクス

247A・100株

9月27日

東証グロース上場

基本概要

所在地	東京都港区六本木六丁目10番1号
代表者名 (生年月日)	代表取締役社長 龍川 誠 (昭和60年9月12日生)
設立	平成28年4月11日
資本金	6億2,743万円 (令和6年8月23日現在)
従業員数	26人 (令和6年7月31日現在)
発行済株式数 (上場時)	11,364,000株 (予定)
公開株式数	公 募 230,000 株 売 出 1,089,000 株 (オーバーアロットメントによる売出197,800株)
想定公開規模	24.3億円~25.3億円 (O A含む)
事業内容	自社開発のAIシステムを用いた、スキンケア商品・美容家電等の企画・開発及び販売

売上高構成比率 (2024/3期 実績)

品目	金額		比率	
D2Cブランド事業	6,961	百万円	98.6	%
その他	100	百万円	1.4	%
合 計	7,061	百万円	100.0	%

幹事証券団 (予定)

	証券会社名	引受株数	引受シェア
主幹事証券	(株)SBI証券	未定	未定
幹事証券	岡三証券(株)	未定	未定
幹事証券	SMBC日興証券(株)	未定	未定
幹事証券	大和証券(株)	未定	未定
幹事証券	あかつき証券(株)	未定	未定
幹事証券	岩井コスモ証券(株)	未定	未定
幹事証券	極東証券(株)	未定	未定
幹事証券	松井証券(株)	未定	未定
幹事証券	マネックス証券(株)	未定	未定

その他情報

手取金の使途	(1)人材採用費、(2)増員に伴う人件費に充当する予定	
関係会社	-	
VC売却可能分 (推定)	-社 -株 (売出し・保有期間などの制限があるもの以外)	
直近有償第三 者割当	年月日	2022年12月26日
	割当先	相川 佳之
	発行価格	327円 ※株式分割を考慮済み

Aiロボティクス

247A・100株

9月27日
東証グロース上場

大株主上位10者とロックアップ

株主名	持株比率	ロックアップ
龍川 誠（社長）	19.06%	180日間
SBIインキュベーション（株）	12.85%	90日間 1.5倍
NVCC9号投資事業有限責任組合	7.18%	90日間 1.5倍
ニッセイ・キャピタル12号投資事業有限責任組合	5.95%	90日間 1.5倍
桑山 好美	5.46%	180日間
桑山 友美	5.46%	180日間
ニッセイ・キャピタル10号投資事業有限責任組合	4.76%	90日間 1.5倍
（株）ブランジスタ	4.48%	180日間
（株）エニグモ	4.48%	180日間
見城 徹	3.28%	180日間

■ 銘柄紹介

同社は、女性向けのライフスタイルに関する動画配信サービスの運営及び当該サービスを通じた消費者に対する広告配信を主たる事業として、2016年に創業した。その後、当該サービスの運営及び広告業務を通じて、広告主であるクライアントの新規顧客獲得や、広告の費用対効果実現に対するニーズに応えるため、2018年に「AIマーケティング事業」を開始するとともに、AIシステム「SELL（セル）」の開発に着手した。

一般的に、広告運用業務は担当者の知見や経験に依拠することが多く、属人化が課題となる。しかし、同社は上述の動画配信サービスの運営及び当該サービスを通じた広告業務で得た知見や経験を元に、「SELL」の開発を進め、この属人化の課題を解決し、効率的な広告業務の運営を行ってきた。

「AIマーケティング事業」では、これまでの運用型のマーケティングに加えて、成果報酬型のマーケティングを中心に行っている。主に、大手消費財メーカーや広告代理店等のクライアントに対し、「SELL」を用いて新規顧客開拓から顧客分析までのトータルなマーケティングソリューションを提供してきた。特に新規顧客開拓については、「SELL」を活用したデータマーケティングを行うことでニーズを持った消費者に対してクライアント広告を効果的に届けてきた。クライアントのニーズに応える中で「SELL」に蓄積された広告クリエイティブデータや成果データを活用し、「AIマーケティング事業」の拡大を行ってきた。

Aiロボティクス

247A・100株

9月27日

東証グロース上場

2022年1月、自社の事業として商品の企画及び販売を行うため、それまで経営支援を目的に出資を行っていたスキンケアブランドを展開するYunth(株)及び17skin(株)の株式取得を行い、同社の完全子会社とし、翌2月より同社グループとして「D2Cブランド事業」を開始した。その後、両社を2022年11月に吸収合併している。

2023年5月、「D2Cブランド事業」の拡大に伴い、今後の業績の向上と採算性を勘案し、経営資源の選択と集中を検討した結果、「AIマーケティング事業」のリソースを「D2Cブランド事業」へシフトすることを決定した。「AIマーケティング事業」で開発していた「SELL」については、蓄積したノウハウやデータを自社ブランドのマーケティングに活用し、更に「D2Cブランド事業」に関わる機能拡張を行った。現在は化粧品や美容家電領域を中心に商品開発を行い、連続的にヒット商品を生み出すことを追求している。

「D2Cブランド事業」では、「自社ECサイト販売」「ECモール販売」「店頭卸販売」の販売チャンネルを通じて、自社で企画・開発し、OEMに製造委託した商品を顧客に販売している。主力ブランドである「Yunth」の「生VC美白美容液」は延べ300万個以上(2024年7月現在)出荷している。特に「自社ECサイト販売」においては、定期購入サービスを中心とした販売活動を行っており、ストック型ビジネスモデルとなっている。なお、自社ECサイトへの顧客誘導は主にSNS広告を中心に行っている。

「ECモール販売」は、楽天市場、Amazon等のECモール内に自社店舗を出店し、商品を販売している。「店頭卸販売」は、自社のECサイトやECモールでの直接販売に加え、店頭販売のための販売代理店に対する卸販売である。同社が販売代理店に対して販売した商品は、全国のドラッグストア等、合わせて約6200店舗(2024年7月時点)の小売店を通じて顧客に購入されている。

免責事項(ディスクレーマー)

株式会社フィスコ(以下「フィスコ」という)は株価情報および指数情報の利用について東京証券取引所・大阪取引所・日本経済新聞社の承諾のもと提供しています。

本レポートは、あくまで情報提供を目的としたものであり、投資その他の行為および行動を勧誘するものではありません。

本レポートはフィスコが信頼できると判断した情報をもとにフィスコが作成・表示したものです。フィスコは本レポートの内容および当該情報の正確性、完全性、的確性、信頼性等について、いかなる保証をするものではありません。

本レポートに掲載されている発行体の有価証券、通貨、商品、有価証券その他の金融商品は、企業の活動内容、経済政策や世界情勢などの影響により、その価値を増大または減少することもあり、価値を失う場合があります。本レポートは将来のいかなる結果をお約束するものでもありません。お客様が本レポートおよび本レポートに記載の情報をいかなる目的で使用する場合においても、お客様の判断と責任において使用するものであり、使用の結果として、お客様になんらかの損害が発生した場合でも、フィスコは、理由のいかなるを問わず、いかなる責任も負いません。

本レポートに記載された内容は、本レポート作成時点におけるものであり、予告なく変更される場合があります。フィスコは本レポートを更新する義務を負いません。

本文およびデータ等の著作権を含む知的所有権はフィスコに帰属し、フィスコに無断で本レポートおよびその複製物を修正・加工、複製、送信、配布等することは強く禁じられています。

フィスコおよび関連会社ならびにそれらの取締役、役員、従業員は、本レポートに掲載されている金融商品または発行体の証券について、売買等の取引、保有を行っているまたは行う場合があります。

以上の点をご了承の上、ご利用ください。

■お問い合わせ■

〒107-0062 東京都港区南青山五丁目13番3号

株式会社フィスコ

電話:03-5774-2443(情報配信部) メールアドレス: support@fisco.co.jp